

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 森林活動支援・林業支援担当
 内線: 4310 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P38	里山・平地林整備事業			一般会計	農林水産業費	林業費	造林対策費	里山・平地林整備事業費	
事業期間	平成28年度～令和5年度	根拠法令	彩の国みどりの基金条例			針路	10 豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール 6, 11, 15	
						分野施策	1001 みどりの保全と創出	SDGsターゲット 6-6, 11-7, 15-1, 15-2	
1 事業の概要 放置された里山・平地林を再生し、景観の向上や生物多様性の保全、森林病虫害の防除など、公益的機能の高度発揮を図るとともに、憩いの場を創造するなど、森林に関する意識の醸成を図る。 (1) 里山平地林の再生 △212千円 (2) 森林病虫害防除 △2,475千円				5 事業説明 (1) 事業内容 県民にとって身近な緑である里山・平地林において、手入れがされず放置された森林の整備・再生及び森林病虫害の防除を行う。 里山・平地林の再生 森林整備面積 32ha 31,789千円 森林病虫害防除 森林防除面積 34ha 8,013千円 (2) 事業計画 里山・平地林の再生 平成28～令和5年度の8年間で738haの森林の再生 森林病虫害防除 令和5年度 34ha (3) 事業効果 里山・平地林を整備、再生すること及び、ナラ枯れ被害を受けた森林の防除を行うことにより、森林植生が回復し、生物多様性の保全などの森林の持つ多面的機能の高度発揮が図られる。 また、森林内の見通しが改善され、景観や環境の保全、地域の防犯、利用者や住民の安全性の向上が図られる。 憩いの場や自然体験の場としての活用が図られ、身近な緑や森林づくりの重要性について県民の理解が深まる。 年度別の整備面積 平成28年度 126ha、平成29年度 150ha、平成30年度 144ha、平成31年度 117ha、 令和2年度 98ha、令和3年度 39ha、令和4年度 32ha(見込)、令和5年度 32ha(見込) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 地域のボランティア団体や自治会、森林所有者との協力・連携により維持管理を行う。 職員による森づくり活動への技術・安全指導 市町村職員に対して、研修等を通じて森林病虫害の知識、防除技術の習得を支援する。 (5) 補正予算の概要 ア 事務費の節減による減額 イ 国庫の内示差による減額					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県定額)市町村等 (2) (国1/2・県1/4)市町村1/4									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	繰入金						
決定額	△2,687	△1,650	△1,037					0	37,115
現計額	39,802	5,000	34,802					0	

事業内訳書

事業名	里山・平地林整備事業		
単位事業名	里山平地林の再生	予算額	△ 212千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	△212	—	
合計	△212	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△35	—	執行留保による旅費の減
需用費	△168	—	執行留保による消耗品費等の減
役務費	△9	—	執行留保による通信運搬費の減
合計	△212	—	

単位事業名	森林病虫害防除	予算額	△ 2,475千円
-------	---------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 林業費補助金	△1,650	—	病虫害防除対策費等交付金 補助率 定額
繰入金・ 彩の国みどりの基金繰入金	△825	—	
合計	△2,475	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△2,475	—	国庫補助金の内定差が生じたことによる補助金の減
合計	△2,475	—	